(様式第3号)

企業・団体名 (信濃理化学工業株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

-								EなSDG	(17=	ール。	는 169	ターケ	デット) 関	連項目	1		
カテゴ	チェック項目	取組	【非該当】	【予定】の 具体的な取組	1	2	3	4 5	6	7 8	9	10	11	12	3 14	15	16	17
ゴリ	フェ クク祭日	レベル	の場合 選択入力	場合 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 選択入力 (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	t em. Rebbek	2 ::: <u>"</u>	******* 4 **/*	5 sus;**** ©****	6 than 7 m	8 1111	9 :::::::	10 cd::***	A 4 (13:) H====	15 total	¥, 17	8
	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本		・採用・福利厚生など雇用条件で差別をしない体制を 構築し、経営トップが積極的に関与している				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本		・ハラスメントがないことを確認しており、従業員一人一 人に声掛けし、浸透させている				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1	
;	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本		・業務効率化による労働時間の短縮など、残業時間の短縮を目指す。						8.5 8.8								
1	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		・健康優良法人取得の際に、法令順守しております。				1.4		8.7 8.8		10.2 10.3						
人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本		・運転手の車両点検の毎日実施を行い安全かつ衛生 に取り組むように努めております。			3			8								
労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本		・経営者が従業員への聞き取りを行い、メンタルヘルス を良好に維持できるよう対応している			3											
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本		・高齢者の再雇用で敷地清掃など検討している。				5.1 5.5		8.5		10.2 10.3						
3	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本		・新規資格取得の為、全面的に会社で取得時間の相談、休みの調整等バックアップを行ってます。				4 5.5		8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、 従業員の公正な待遇を 行っている				5.5		8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ		・インフルエンザ予防接種等の経費補助を行っている。 健康経営優良法人(経済産業省)の認定を受けている。			3			8								
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本		・各種廃棄物法に準じて適正処理に取り組んでいる.エコアクション21を取得している。									11.6	2.4	14.	1		
環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		・使用量及び排出量の現状把握し経営実務管理の参考としている。エコアクション21を取得している。					7	.3					13			
境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		・排出量の現状把握し経営実務管理の参考としている。 またエコアクション21を取得している。						.2 .3			,	2.4 1	3.3			
ı	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本	【非該当】	・有害化学物質の取り扱いがない			3.9		6.3				11.6	2.4				

	カ			F-II-O-L-W-X	[TT 0	日かんか取る						-ルと169					
	カテゴ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	リ 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2 3	4		6 7						16 17
	リリ		DAN	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	fettet .	<u>~</u>	4 mbr	₫"	V	8 IIII 9 IIII	10 satara 1⊕>		13 :::::	**************************************	16 7000
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に影響を及ぼすことのないように処理水の検査を毎月行い、検査結果はホームページにUPしております。					6.6					15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・ペーパーレス化・裏紙の使用を促進している。								12.	5	14.1	
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			・揚水量報告書により揚水量の管理をしている ・技術改善を推進し使用料の最小化を促進					6.4 6.6						
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・エコアクション21(2011年)取得 ・長野市コ・サークル ゴールド・ランク(2000年)認定		3.9)		6 7			12	13.3	14 15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・HP・産廃ネットで環境情報を公開し、環境報告書を発 行している								12.0	6		
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・汚泥から油分を抽出してボイラーを使用し再生エネル ギーとして利用できるよう努める					7.2				13		
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			・水の循環型処理を行う天然資源の持続的利用に配慮 した施設である								12.:	2 13	14 15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動範囲を整備し、社内 浸透を図っている											16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			·不正競争行為を含む行動範囲を整備し、社内浸透を 図っている											16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・知的財産の管理に努めている						8.2 8.3 9					
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			·「個人情報に関する基本方針」を定め体制を整備している											16
26	///	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		・搬入前にサンプルをいただいて紛争鉱物に関して、含まれんてない事を確認しております。											16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			・取引先との対話及び付属書類等よる認識の共有、取 組状況の把握に努めている				5		8	10	12	13	14 15	16 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・今後取り組む予定		3				8 9	10				17

Γ					1				主	なSDG	s (17ゴ	-ルと1	69ター	ゲッ	h)	関連項		
		チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合		1	2	3 4	5	6 7	8	10	11	12	13	14 15	16 17
		7 エ ノ ノ 横口	レベル	選択入力	選択人力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	1 am Bekkit	2##	-w-	§ ::::::*** ⊚ "	6 ************************************	8 2222	10 tatan	11 :::::::: Alld_	(CO)	13 :::::	15 11111	16 7 8 8
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・定期水質分析等による安全性の確保。情報の開示			3.9					Maria	12.4			
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・作業フローにおいて品質の維持向上に努めて管理して いる)					
31	- ビ ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・産業廃棄物の脱水処理した際に、民間業者に分析を 依頼。問題無い数値で河川放流をおこなってます。					6				12	13	14 15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	・処理する汚泥から油分を抽出してエネルギーとして再利用できないか検討しております。	1	2	3 4	5	6 7	8	10	11	12	13	14 15	16 17
33	ż +	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域との対話に基づき、事業の理解を深め影響の把握 を行い改善に努める			4)	11	12		14 15	17
١.	地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	・周辺地域の清掃、食料の寄付等を検討中			4					11			14 15	17
35	-	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			・回収した汚泥を最終処分先にて堆肥化、県内農家への堆肥販売、販売先からの農家から作物を購入しております。						8)	11	12	13		
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営者が経営理念及び経営目標を掲げている						8	9					17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			・経営者が法令遵守し、重要性をに発信している												16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本			・経営者が法令遵守し、重要性をに発信している												16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利書関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・ステークホルダーの権利・立場を尊重し対話重視して 健全な事業活動を実施する												16 17
40	体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレン ジ			・経営上のリスクを洗い出し、適切な対応を講じる												16
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・事業活動そのものがCSR活動の一環ととらえている												16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ		【予定】	・事業継続計画(BCP)の作成							9	11		13 13.1		16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン ジ			・事業承継者候補がいる						8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5 6	7	8	3 9	10	11	12	13	14 1	15 16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録 が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 〇 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定